

特性表について

耐熱性 ★★★★★
 耐油性 ★★★★★
 耐ノイズ性 ★
 難燃性 ★★★★★
 耐捻回性 ★★
 耐屈曲性 ★★★★★
 ケーブルヘア ★★★★★

製品の各特性について、段階評価した結果を「★」（星数）で表示しております。

※評価結果は当社基準であり、使用環境等によっては異なる場合がございます。参考値としてご利用下さい。

耐熱性

一般ビニルの耐熱温度は 60℃となりますが、特殊ビニルを使用し耐熱性を向上させることが可能です。一般ビニルである 60℃を「1」、UL105℃をクリアする製品を「5」で表示しております。

60℃	70℃	75℃	80℃	90℃	105℃以上
1	2	3	4	5	

耐ノイズ性

遮蔽層（シールド）や線心にツイストを加える事により耐ノイズ性を向上させることが可能です。一般ケーブルを「1」、ツイストペアケーブルを「2」、遮蔽層を施したケーブルを「3」、ツイストペア+遮蔽層を施したケーブルを「4」、ツイストペア+二重遮蔽層を施したケーブルを「5」で表示しております。

層より	○				
ツイスト		○		○	○
シールド			○	○	
Wシールド					○
	1	2	3	4	5

柔軟性

導体構成や絶縁体・シース材料を変更することにより柔軟性を向上させることが可能です。

導体	○				
絶縁体		○	○	○	○
撚り				○	○
シース			○	○	○
	1	2	3	4	5

耐捻回性

捻回試験（P.250 参照）を行った結果、捻回数値が 100万回未満を「1」、100万回以上を「2」、300万回以上を「3」、500万回以上を「4」、1,000万回以上を「5」、2,000万回以上を「6」で表示しております。

100万回未満	100万回以上	300万回以上	500万回以上	1000万回以上	2000万回以上
1	2	3	4	5	6

耐屈曲性

屈曲試験（P.249 参照）を行った結果、屈曲回数値が 100万回未満を「1」、100万回以上を「2」、300万回以上を「3」、500万回以上を「4」、1,000万回以上を「5」で表示しております。

100万回未満	100万回以上	300万回以上	500万回以上	1000万回以上
1	2	3	4	5

ケーブルヘア

U字型折り返し試験（P.249 参照）を行った結果、屈曲回数値が 100万回未満を「1」、100万回以上を「2」、300万回以上を「3」、500万回以上を「4」、1,000万回以上を「5」、2,000万回以上を「6」、5,000万回以上を「7」で表示しております。

100万回未満	100万回以上	300万回以上	500万回以上	1000万回以上	2000万回以上	5000万回以上
1	2	3	4	5	6	7

移動特性

固定配線	引き出しレベル VCTF VCT PNCT STO	弱耐震	耐震型	超耐震型
1	2	3	4	5

耐油性

特殊耐油ビニル樹脂を使用することにより耐油性を向上させることが可能です。耐油性の無い一般ビニルを「1」、長時間油に浸しても使用上問題の無い製品を「5」で表示しております。

	PVC	HPVC		耐油PVC CR
	70℃×4hr	85℃×4hr		100℃×9hr 120℃×1.5hr
1	2	3	4	5

難燃性

一般ビニルは自消性がありますが、さらに難燃性を向上させることが可能です。一般ビニルを「1」、水平試験に合格した製品を「2」、60℃傾斜試験に合格した製品を「3」、UL VW-1 燃焼試験に合格した製品を「4」、UL 垂直トレイ燃焼試験に合格した製品を「5」で表示しております。

燃える	水平	60℃傾斜	VW-1	VT
1	2	3	4	5

非移行性

一般ビニルは移行性がありますが、特殊材料を使用することにより非移行性をもたせることが可能です。一般ビニルを「1」、非移行性製品を「5」で表示しております。

			PS	PS,ABS
1	2	3	4	5

■製品に対する注意事項

- 電線を選定するにあたり適用規格及び用途に適合した製品を選定願います。
- 本カタログに記載の性能および特性資料は、実際の使用環境での性能を保証するものではありません。
- 本カタログに記載の許容電流値は、周囲温度 30℃ 空中一条布設の値です。ご使用時、周囲温度及び多条布設によって変化しますので、記載の減少係数を乗じてください。（※記載の許容電流値は計算値です。）
- 本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。
- 太陽ケーブルテック株式会社（弊社）の製品に関し万一不具合が発見された場合には、出来るだけ速やかに販売社あるいは担当営業員にご連絡ください。現品は弊社品質保証担当者の検査、確認が必要ですので保管をお願い致します。販売情報のない部門に連絡されても対応が出来かねますので、ご理解をお願い申し上げます。



- 通電中に人や物が導体に触れるような布設はしないで下さい。
- 許容電流を超えての使用はしないで下さい。



- 電線で物を保持しないで下さい。（ひも、ロープの代わりとして使用しないで下さい）